

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代文探究

教科：国語 科目：現代文探究 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：高等学校 文学国語・論理国語（筑摩書房）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
架橋することは 【知識及び技能】 ・比喩などの修辞を理解し、文章の効果的な組み立てや表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に表現できている。 ・文章の内容を理解し、要旨や要点をふまえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを表現することができる。	・文章を読んで論理的な思考力を培い、他者の意見聞きつつ、自分の考えを表現し文章を作成する。 ・使用教材：教科書、副教材、問題集、ワーク	○	○	○	【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み立てや表現が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に表現できている。文章の内容を理解し、要旨や要点をふまえた意見を持つことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを表現し、共有しようとしている。	○	○	○	6
物語との出会い 【知識・技能】 ・文学的文章の種類や特徴などについて理解を深める。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】 ・選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。 【学びに向かう態度・人間性等】 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、もの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整する。	・小説を読み自分なりの考えをまとめて表現する。 ・主人公の考えや心情を理解しまとめる。 ・使用教材：教科書、副教材、問題集、ワーク	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的文章の種類や特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に表現できている。文章の内容を理解し、要旨や要点をふまえた意見を持つことができている。 ・選んだ題材に応じて情報を収集、整理し表現したいことを明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを表現し、共有しようとしている。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	6
定期考査						○	○	○	1
1 学期 変貌する時代、変貌する人間 【知識及び技能】 ・語句や語彙の構造や特色、用法や表記の仕方を理解し、主張と論拠などを整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、もの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整する。	・文章を読んで論理的な思考力を培い、他者の意見聞きつつ、自分の考えを表現し文章を作成する。 ・使用教材：教科書、副教材、問題集、ワーク	○	○	○	【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み立てや表現が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に表現できている。文章の内容を理解し、要旨や要点をふまえた意見を持つことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを表現し、共有しようとしている。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	4
〈私〉をひらくために 【知識及び技能】 ・語句や語彙の構造や特色、用法や表記の仕方を理解し、主張と論拠などを整理する。 ・抽象度の高い文章を理解するための言語や表現を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、もの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整する。	・それぞれの内容に即して論の本質を理解する。 ・文章を読んで論理的な思考力を培い、他者の意見聞きつつ、自分の考えを表現し文章を作成する。 ・使用教材：教科書、副教材、問題集、ワーク	○	○	○	【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み立てや表現が理解できている。 ・語句や語彙の構造や特色、用法や表記の仕方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に表現できている。文章の内容を理解し、要旨や要点をふまえた意見を持つことができている。 ・主張と論拠の情報関係を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを表現し、共有しようとしている。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	8
定期考査						○	○	○	1

武蔵野北高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究

単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 6組

使用教科書: (古典探究 古文編・漢文編(筑摩書房))

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感した豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通し積極的に他者や社会に関わりたり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書・読						
<p>物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとする。 学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえるが、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 歌物語の特徴について理解を深める。 文語のきまりについて理解を深める。 			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。 					10
<p>寓話・思想</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深める。 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深める。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しを持って古典を読み、特徴について理解を深めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 訓読のきまりについて理解を深める。 			<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しを持って古典を読み、特徴について、理解を深めようとする。 					6
<p>定期考査</p>									1
<p>随筆</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 古典などを読むことを通して、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 随筆に表れたもの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとする。 作品の特徴について、理解を深める。 漢詩文と関わりのある随筆を読み、我が国の文化と中国の文化との関係について、積極的に理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容・形態によって三つに大別される章段のそれぞれを読んで、文章に表れたもの見方や考え方を理解する。 自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 文語のきまりについて理解を深める。 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典などを読むことを通して、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 随筆に表れたもの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとしている。 					16
<p>文章</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深める。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の展開を的確に捉えたとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。 作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 論説の構成・展開のしかたについて理解を深める。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 訓読のきまりについて理解を深める。 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 					8
<p>定期考査</p>									1
<p>日記</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとする。 本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考えや意図を捉えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 文語のきまりについて理解を深める。 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 <p>【学びに向かう態度・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。 本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考えや意図を捉えようとしている。 					8

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史科 科目：日本史探究 単位数 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『詳説日本史探究』（山川出版社））

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 単元 文化の始まり ①人類文化の発生を考へ、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。 ③原始社会に関する時代を通観する問いについて仮説を思考し、表現する。	・人類文化の発生 ・旧石器時代 ・縄文文化	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 農耕社会の成立 ①大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 ②集落・墓の変容から畜の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 ③原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。	・弥生文化 ・小国の分立と邪馬台国	【知識・技能】 水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	3
	C 単元 古墳文化の展開 ①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。	・古墳文化	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	D 単元 飛鳥の朝廷 ①ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 ②飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。	・飛鳥時代の政治・飛鳥文化	【知識・技能】 推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 【思考・判断・表現】 仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
E 単元 律令国家への道 ①律令にもとづく国内統治体制について理解する。 ②律令国家の形成に伴って東アジア情勢について理解する。	・律令国家の成立	【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	F 単元 律令国家の成立 ①平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。 ②天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。	・平城京の時代 ・律令国家の文化	【知識・技能】 平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 【思考・判断・表現】 文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墨田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	6
	G 単元 律令国家の変容 ①平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ②東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	・平安時代初期の政治改革 ・弘仁・貞観文化	【知識・技能】 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	H 単元 摂関政治と国風文化 ①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ②日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。 ③大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。	・摂関政治 ・国際関係の変化 ・国風文化	【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	6
	I 単元 中世社会の始まり ①地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとりて考察する。 ②院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ③古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	・地方政治と武士の台頭 ・院政	【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
3 学 期	J 単元 鎌倉幕府の成立と展開 ①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ②承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ③モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。 ④庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。	・平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・承久の乱 ・蒙古襲来 ・鎌倉文化	【知識・技能】 源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
合計							
70							

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 詳説「世界史探究」山川出版社 ）

教科 地理歴史

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究

の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめた りする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、 結果や影響、事象相互の関連などに着目 し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点に ついて考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究して みたいことなどを見出して、見通しを持っ て学習に取り組もうとしている。	・西アジアの身分・階級・王権・ 宗教に関する資料から情報を読み 取ったりまとめた。 ・西アジアにおいて多様な身分・ 階級が生まれた背景および宗教と 王権の関係について考察する。	【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめた りする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、 結果や影響、事象相互の関連などに着目し、 諸地域の歴史的特質を読み解く観点につい て考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究して みたいことなどを見出して、見通しを持っ て学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 古代オリエント文明とその周辺 【知識及び技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、 そのなかで大河流域のメソポタミアとエジ プトで灌漑農業をもとにいち早く文明化し たことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料 をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史 に与えた影響を多面的・多角的に考察し表 現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエント文明について、自分が抱いた興 味・関心や疑問、追究してみたいことなど を見出して、見通しを持って学習に取 り組もうとしている。	・自然環境の変化と農耕・牧畜の 開始との関係について考察し、文 明誕生の基礎について理解する。 ・おもな古代文明の立地について 考察し、文明が生まれるために必 要だった条件を理解する。	【知識及び技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そ のなかで大河流域のメソポタミアとエジ プトで灌漑農業をもとにいち早く文明化し たことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料を もとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に 与えた影響を多面的・多角的に考察し表 現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエント文明について、自分が抱いた興 味・関心や疑問、追究してみたいことなど を見出して、見通しを持って学習に取 り組もうとしている。	○	○	○	18
3 南アジア世界の古代文明 【知識及び技能】 南アジアの多様性を生み出した地理的環 境について理解する。南アジア最古の文明 であるインダス文明が栄えた場所の特徴を 理解する。 アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした 変化について多面的・多角的に考察し表 現する。 【思考力、判断力、表現力等】 アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした 変化について多面的・多角的に考察し表 現する。	南アジアの多様性を生み出した地 理的環境について理解する。 南アジア最古の文明であるイン ダス文明が栄えた場所の特徴を理 解する。 アーリヤ人の進入が南アジアにも たらした変化について多面的・多 角的に考察し表現する。	【知識・技能】 南アジアが南北に大きく二分されること、そ れぞれの風土に適合した生活が古くから営 まれていたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ヴァルナ制やジャー ティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に 富や地位の差が生まれていった背景や原因を 考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアの古代文明について、自分が抱いた 興味・関心や疑問、追究してみたいことなど を見出して、見通しを持って学習に取 り組もうとしている。	○	○	○	16

1 学期	<p>4 中国の古代文明</p> <p>【知識及び技能】 殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現する。</p> <p>殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。</p> <p>戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識・技能】 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
<p>5 南北アメリカ文明</p> <p>【知識及び技能】 北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。 中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適應した文化・文明が発展したことを理解している。南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適應した文化・文明が発展したことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>第2章 中央ユーラシアと東アジア世界</p> <p>1 中央ユーラシア</p> <p>【知識及び技能】 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。</p> <p>オアシス民と遊牧民の関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識・技能】 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18	
定期考査			○	○		1	
<p>2 秦・漢帝国</p> <p>【知識及び技能】 新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。 漢の支配体制の変遷を理解する。 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。 漢の支配体制の変遷を理解する。 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】 秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	20	

<p>3 中国の動乱と変容</p> <p>【知識及び技能】 魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 魏晋南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 魏晋南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。 魏晋南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 魏晋南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解する。</p>	<p>【知識及び技能】 魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「女史箴図」などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中国の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
<p>4. 東アジア文化圏の形成</p> <p>【知識及び技能】 唐の勢力圏の広がりを理解する。唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>唐の勢力圏の広がりを理解する。 唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 突厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解する。 ソグド人の中央ユーラシアや東アジアにおける役割について理解する。</p>	<p>【知識及び技能】 隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 壁画などの図像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 隋・唐帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
<p>第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>1 仏教の成立</p> <p>【知識及び技能】 仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「海の道」に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p>	<p>仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解する。 クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
<p>2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着</p> <p>【知識及び技能】 グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。 ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。 ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】 インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○		1

2
学
期

<p>3 東南アジア世界の形成と展開</p> <p>【知識及び技能】 東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。</p> <p>東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】 東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <p>1 イラン諸国家の攻防とイラン文明</p> <p>【知識及び技能】 アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。</p> <p>アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。</p> <p>パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジア・地中海文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。</p> <p>パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。</p> <p>パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】 アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興じたのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	20
<p>2 ギリシア人の都市国家</p> <p>【知識及び技能】 ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。【学びに向かう力、人間性等】 西アジア・地中海文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。</p> <p>スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。</p> <p>ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】 ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。【学びに向かう力、人間性等】 西アジア・地中海文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○		20
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>3 ローマと地中海支配</p> <p>【知識及び技能】 ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。</p> <p>ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。</p> <p>「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。</p> <p>ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。</p> <p>「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。</p> <p>ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モザイク画などの画像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	23

	<p>4 キリスト教の成立と発展</p> <p>【知識及び技能】キリスト教の成立の経緯を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>キリスト教の成立の経緯を理解している。ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
3 学 期	<p>第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>1 イスラーム教の成立</p> <p>イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。</p> <p>【知識及び技能】アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	<p>【知識及び技能】イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
	<p>2 ヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】ヨーロッパ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。カールの戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。ノルマン人が西ヨーロッパ世界において果たした歴史的役割について理解する。西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。</p>	<p>【知識及び技能】西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
合計							70

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 詳述公共 実教出版 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】	<ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	<p>主として法に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p>
【学びに向かう力、人間性等】	<p>現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、正義、公正などに着目して、主として法に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	<p>地球環境問題の現状について把握させるとともに、これらの問題は自分たちにとって身近な問題であることに気づかせる。</p> <p>・資源・エネルギーの利用において国家間の利害が衝突している現状を認識させる。とくにエネルギー問題にあつては、国内の情勢だけでなく国際的な動向にも注目させ、原子力や再生可能エネルギーによる発電がどうあるべきかを考察させる。</p> <p>・人類の福祉という観点から、科学技術はどのように利用されるべきかを考察させる。</p> <p>・情報化社会における課題を踏まえつつ、情報化社会に生きるためのモラルやルールについて、どのような規制や法整備によって調整をおこなっていくべきかを考えさせる。</p>	<p>第1部 わたしたちの生きる社会</p> <p>第1章 地球環境問題</p> <ol style="list-style-type: none"> 破壊される地球 (1) 破壊される地球 (2) 地球環境の危機 地球環境問題への取り組み <p>●1 地球環境の危機</p> <p>●2 自然の保護と再生</p> <p>第2章 資源・エネルギー問題</p> <ol style="list-style-type: none"> 限りある資源 エネルギーの開発と利用 原子力と再生可能エネルギー 人口問題と食料・水資源 人口と食料 <p>第3章 生命科学と情報技術の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 人間の生死と生命科学 遺伝情報と利用の諸課題 高度情報化社会と情報倫理 	<p>【知識・技能】 地球環境問題、特に地球温暖化は、経済発展に伴う二酸化炭素などの排出、地球環境の汚染や破壊の問題であることを理解し、その知識を身に付けており、また、問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 資源・エネルギー問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>青年期の意義と自己形成の課題について考察させ、青年としての生き方を自覚させる。</p> <p>・倫理や進路指導と関連させる。</p> <p>・先哲の思想や宗教の意義に触れ、人間としていかに生きていくべきかを考察させる。</p> <p>・現代社会で「正義」「公正」「幸福」はいかにすれば達成されるのか、さまざまな思想家の主張を比較・考察させる。</p>	<p>第2部 現代の社会と人間</p> <p>1 青年期の自己の形成</p> <p>第1章 自分らしく生きる</p> <ol style="list-style-type: none"> 青年期とは 自己形成の課題 (1) 自己形成の課題 (2) 職業生活と社会参加 <p>第2章 人間としてよく生きる</p> <ol style="list-style-type: none"> 哲学と人間 宗教と人間 科学と人間 自由の実現 人間と幸福 人間性の回復と主体性の確立 他者の尊重 <p>第3章 日本人としての自覚</p> <ol style="list-style-type: none"> 古代日本人の思想と仏教思想の展開 外来思想の受容と日本の思想 	<p>【知識・技能】 生涯における青年期の意義と自己形成、望ましい職業観・勤労観や男女共同参画社会、社会参加、などについて理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味について自らの人生とかかわらせながら多面的・多角的に考察し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、追究し考察した結果を口頭や文章などで適切に説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 青年の生き方に対する関心を高め、生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追究し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて考えようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

	<p>・世界の主な国の政治体制を比較しながら理解させるとともに望ましい政治や主権者としての参政の在り方について考えさせる。</p>	<p>2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度 	<p>【知識・技能】 国民主権と議会制民主主義など日本国憲法の基本原則と世論形成や政治参加の意義、民主政治の課題について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・現代の民主政治から課題を見だし、個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代の民主政治に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し、考えようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解させ、民主政治において主体的に生きる人間としての在り方生き方を考えさせる。</p> <p>・議会制民主主義と権力分立について、その意義や多数決の原理と運用方法などについて理解させるとともに、民主政治の権力分立の意義を法の支配や基本的人権の保障と関連づけて理解を深めさせる。</p> <p>・民主政治のもとでは、国家の行為に対して最終的には国民自らが責任をもつことになるということを理解させる。</p> <p>・法に関する基本的な考え方を身に付けさせる。</p> <p>・新聞などを教材として、身近な話題を示す。</p> <p>・政治・経済、日本史や世界史の学習内容と関連させる。</p>	<p>第2章 日本国憲法的基本性格</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国憲法の制定 2. 日本国憲法的基本性格 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権保障の広がり と 公共の福祉 8. 平和主義とわが国の安全 9. こんにちの防衛問題 <p>第3章 日本の政治機構と政治参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加 	<p>【知識・技能】 基本的人権の保障と法の支配、平和主義と我が国の安全など日本国憲法の基本原則について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・現代の民主政治から課題を見だし、個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の民主政治とその課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<p>激動する経済社会について、様々な角度から理解を深めさせ、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察させる。</p> <p>・金融の意義や役割を理解させるとともに、金融政策の目的と手段について理解させる。</p> <p>・新聞記事を題材にし、現実の動きと関連させて説明する。</p> <p>・政治・経済の学習内容と関連させる。</p>	<p>3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済成長と国民の福祉 8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税 11. 日本の財政の課題 	<p>【知識・技能】 現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全などについて理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動から課題を見だし、消費者、納税者としての個人の経済活動における社会的責任について多面的・多角的に考察し、様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し経済活動の在り方について考えようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>国際経済は、輸入品の価格や海外旅行など身近な例を挙げて解説する。</p> <p>・情報通信技術の発達や世界的な規制緩和により、経済のグローバル化が展開していることに注目させるとともに、地域的経済統合が進展する背景や影響について考察させる。</p> <p>・経済のグローバル化が進むなかで、わが国がどのような対外政策を進めつつあるのか考察させる。</p> <p>・経済協力や国際的な援助の在り方について、国家間の方策だけでなく、NGOやNPOなども重要な主体となっていることを、その理由とともに考察させる。</p>	<p>第2章 国際経済の動向と国際協力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. こんにちの国際経済 ●10 世界経済と新興国 5. 発展途上国の諸問題 6. 経済協力と日本の役割 	<p>【知識・技能】 経済の国際化、労働力・資本・技術・情報などの地球規模での移動や貿易の拡大と不均衡、南北問題などを理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・冷戦終結後の国際経済に関する諸問題から課題を見だし、国際的な経済協力の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦終結後の国際経済に関する諸問題に対する関心が高まり、国際的な経済協力の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

武蔵野北 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

数学

科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 問題を的確に数学的に表現し数理的に考察、過程や結論を批判的に判断する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の活用、数学的論拠に基づく判断、問題解決の考察を深め評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	論理的に考察する力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第3章 図形と方程式</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1)座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができる。</p> <p>(2)座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。</p> <p>(3)軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。</p> <p>(4)簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(1)座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。</p> <p>(2)数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(1)事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>(2)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>内分点、外分点、2点間の距離</p> <p>直線、円の方程式</p> <p>軌跡</p> <p>不等式の表す領域</p> <p>・教材</p> <p>教科書 補助教材 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>(1)平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を求められる。</p> <p>(2)座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。</p> <p>(3)軌跡を求めることができる。</p> <p>(4)簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(1)座標平面上の図形を方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察できる。</p> <p>(2)数学的に捉え、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象を考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(1)問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>(2)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	23
定期考査			○	○		1
<p>第4章 三角関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1)角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。</p> <p>(2)三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。</p> <p>(3)三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(1)三角関数に関する様々な性質について考察する。</p> <p>(2)三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察する。</p> <p>(3)数学的に捉え、問題を・解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(1)事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>(2)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>弧度法</p> <p>三角関数とグラフ</p> <p>加法定理、2倍角の公式、三角関数の合成</p> <p>・教材</p> <p>教科書 補助教材 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>(1)角を一般角や弧度法により表現できる。</p> <p>(2)三角関数のグラフの特徴について理解している。</p> <p>(3)三角関数の相互関係などの性質を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(1)三角関数に関する様々な性質について考察することができる。</p> <p>(2)三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。</p> <p>(3)数学的に捉え、問題を・解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(1)事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。</p> <p>(2)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	25
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>第4章 三角関数</p> <p>【知識及び技能】 (1) 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 三角関数の加法定理から新たな性質を導く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、評価・改善する。</p>	<p>・指導事項 加法定理、2倍角の公式、三角関数の合成</p> <p>・教材 教科書 補助教材 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】 (1) 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 三角関数の加法定理から新たな性質を導ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。</p> <p>(2) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善する。</p>	○	○	○	
	<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】 (1) 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をする。 (2) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 (3) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 (4) 対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 指数と対数を相互に関連付けて考察する。 (2) 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 (3) 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 (2) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>	<p>・指導事項 指数法則、指数関数のグラフ、対数の性質、対数関数のグラフ</p> <p>・教材 教科書 補助教材 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 解説動画の活用</p>	<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】 (1) 指数法則を用いて数や式の計算できる。 (2) 指数関数のグラフの特徴について理解できる。 (3) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算できる。 (4) 対数関数のグラフの特徴について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 指数と対数を相互に関連付けて考察できる。 (2) 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に理解できる。 (3) 事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できる。 (2) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善できる。</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	<p>第6章 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】 (1) 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。 (2) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 関数とその導関数との関係について理解する。 (2) 数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>	<p>・指導事項 微分係数・導関数 関数の増減、極大・極小、グラフの概形</p> <p>・教材 教科書 補助教材 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】 (1) 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求められる。 (2) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 関数とその導関数との関係について考察することができる。 (2) 関数の局所的な変化に着目し数学的に捉え、問題を解決できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善できる。</p>	○	○	○	35
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>(1)不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(1)微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(1)事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。</p> <p>発展演習</p> <p>共通テスト対策演習</p>	<p>・指導事項</p> <p>不定積分、定積分</p> <p>・教材</p> <p>教科書 補助教材 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>(1)不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(1)微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(1)事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断出来る。</p>	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
						合計	140

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

数学

科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～

6 組

使用教科書：（ 数学B（数研出版）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 問題を的確に数学的に表現し数学的に考察、過程や結論を批判的に判断する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の活用、数学的論拠に基づく判断、問題解決の考察を深め評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 数列</p> <p>【知識及び技能】 (1) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する。 (2) 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断を試みる。 (2) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善を試みる。</p>	<p>・指導事項 数列と一般項 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和</p> <p>・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】 (1) 等差数列と等比数列を理解し、それらの一般項や和を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 (2) 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 (2) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善する。</p>	○	○	○	13
<p>【知識及び技能】 (1) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解する。 (2) 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する。 (2) 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断を試みる。 (2) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善を試みる。</p>	<p>・指導事項 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列の和 漸化式</p> <p>・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】 (1) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 (2) 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 (2) 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 (2) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善する。</p>	○	○	○	17
中間調査			○	○		1

武蔵野北 高等学校 令和 8 年度 (2 学年用) 教科

数学

科目 数学 C

教科 : 数学

科目 : 数学 C

単位数 : 1 単位

対象学年組 : 第 2 学年 1 組 ~

6 組

使用教科書 : (数学 C (数研出版))

教科 数学

の目標 :

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を的確に数学的に表現し数理的に考察、過程や結論を批判的に判断する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	数学の活用、数学的論拠に基づく判断、問題解決の考察を深め評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 C

の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大喜さと向きを持った量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する能力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第 1 章 平面上のベクトル</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算をする。 成分表示されたベクトルを、2つのベクトルの1次結合の形に表現する。 点の座標とベクトルの成分の関係について理解する。 内積は実数であることを理解する。 大きさとなす角でベクトルの内積を計算することができる。また、成分表示されたベクトルの内積を計算する。 ベクトルのなす角を、内積を利用して求める。 ベクトルの垂直条件を理解し、計算に利用する。 内積の性質を理解し、計算に利用する。 点の位置を、基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解する。 線分の内分点、外分点、三角形の重心を位置ベクトルで表す公式を理解する。 3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用する。 線分上の点を、線分を $s : (1-s)$ に内分する点として処理する。 直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表す。 通る1点と法線ベクトルから直線の方程式を求める。 ベクトルを用いて2直線のなす角を求める。 円や円の接線のベクトル方程式を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 ベクトルの定義 ベクトルの相等 ベクトルの和の定義と性質 逆ベクトル 零ベクトル ベクトルの差の定義 ベクトルの実数倍 ベクトルの平行と単位ベクトル ベクトルの分解 ベクトルの成分表示 成分表示されたベクトルの性質 座標平面とベクトル ベクトルの内積とその性質 ベクトルの平行・垂直と内積 成分で表された内積 内積の応用 内積の諸性質 教材 教科書 補助教材 プリント 一人1台端末の活用 解説動画の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。 成分表示されたベクトルを、2つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 点の座標とベクトルの成分の関係について理解している。 内積は実数であることを理解している。 大きさとなす角でベクトルの内積を計算することができる。また、成分表示されたベクトルの内積を計算することができる。 ベクトルのなす角を、内積を利用して求めることができる。 ベクトルの垂直条件を理解し、計算に利用できる。 内積の性質を理解し、計算に利用できる。 点の位置を、基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 線分の内分点、外分点、三角形の重心を位置ベクトルで表す公式を理解している。 3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用できる。 線分上の点を、線分を $s : (1-s)$ に内分する点として処理できる。 直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表すことができる。 通る1点と法線ベクトルから直線の方程式を求めることができる。 ベクトルを用いて2直線のなす角を求めることができる。 円や円の接線のベクトル方程式を理解している。 	○	○	○	
<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベクトルの平行条件を、成分表示されたベクトルにも適用し、成分を求める。 点の座標とベクトルの成分の関係を、座標平面上の図形の問題に活用する。 ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求める。 内積の性質を用いて、ベクトルの大きさやなす角を求める。 位置ベクトルを活用して、図形の性質が考察できる。 図形の性質をベクトルで表現して扱う。 ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用する。 垂直条件をベクトルの内積で表現する。 直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線のベクトル方程式と関連付ける。 点が線分AB上に存在する条件を活用して、点Pの存在範囲を考察する。 		<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベクトルの平行条件を、成分表示されたベクトルにも適用し、成分を求めることができる。 点の座標とベクトルの成分の関係を、座標平面上の図形の問題に活用できる。 ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。 内積の性質を用いて、ベクトルの大きさやなす角を求めることができる。 位置ベクトルを活用して、図形の性質が考察できる。 図形の性質をベクトルで表現して扱うことができる。 ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用できる。 垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線のベクトル方程式と関連付けることができる。 点が線分AB上に存在する条件を活用して、点Pの存在範囲を考察することができる。 				17

<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベクトルと座標平面を関連させ、ベクトルが成分で表現できることに興味、関心をもつ。 座標平面上の図形の問題について、ベクトルを活用して解く解法を知り、ベクトルを用いない場合の解法と比較して考察しようとする。 ベクトルの内積のもつ図形的意味を探ろうとする態度がある。 三角形の面積が内積で表せることに興味、関心を持ち、問題解決に利用しようとする。 線分ABをm:nに外分する点の位置ベクトルを表す式が、mとnの大小関係に関わらず同じであることに興味を持ち、確かめようとする。 位置ベクトルを用いて、平面図形についての命題を証明しようとする。 ベクトルを用いて円の性質を考察する意欲がある。 点と直線の距離の公式が、ベクトルを利用して導けることに興味を持ち、公式を証明しようとする。 		<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベクトルと座標平面を関連させ、ベクトルが成分で表現できることに興味、関心がある。 座標平面上の図形の問題について、ベクトルを活用して解く解法を知り、ベクトルを用いない場合の解法と比較して考察する。 ベクトルの内積のもつ図形的意味を探ろうとする態度をもつ。 三角形の面積が内積で表せることに興味、関心を持ち、問題解決に利用する。 線分ABをm:nに外分する点の位置ベクトルを表す式が、mとnの大小関係に関わらず同じであることに興味を持ち、確かめる。 位置ベクトルを用いて、平面図形についての命題を証明する。 ベクトルを用いて円の性質を考察する意欲をもつ。 点と直線の距離の公式が、ベクトルを利用して導けることに興味を持ち、公式を証明する。 	○	○	○	
1 学期	中間考査	中間考査	○	○		1
<p>第2章 空間のベクトル</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間における図形を、座標を利用して示す。 座標空間において、点の座標、2点間の距離などが求まる。 空間図形において、ベクトルの和や差を考える。 空間のベクトルを、3つのベクトルの1次結合の形に表現する。 成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算をする。 成分表示されたベクトルを、3つのベクトルの1次結合の形に表現する。 点の座標とベクトルの成分の関係について理解する。 立体図形におけるベクトルの内積を、適切な方法で計算する。 ベクトルのなす角を、内積を利用して求める。 ベクトルの垂直条件を理解し、計算に利用する。 位置ベクトルの諸性質が平面の場合と同じであることを理解して、それらを利用する。 空間において3点が一直線上にあるための条件を理解する。 ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用する。 ある点が3点で定まる平面上にあるための必要十分条件を理解し、それらを利用する。 座標空間における線分の内分点・外分点などの座標が求まる。 座標軸に垂直な平面の方程式、球面の方程式について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトルを、平面上のベクトルの拡張として捉えることができ、平面上のベクトルで成り立つ性質が、空間においても同様に成り立つことを理解する。 空間のベクトルの成分表示を、平面上のベクトルの拡張として捉える。 空間のベクトルの内積を、平面上のベクトルの拡張として捉える。 座標空間の3点で定まる三角形の角の大きさを、ベクトルを利用して求める。 ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求める。 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明する。 3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用する。 3点で定まる平面上に点Pがあることを、ベクトルで表現して利用する。 線分の長さ、垂直条件をベクトルの内積で表現して考察する。 内積を利用して、直線に垂線を下ろしたときの交点の座標を求める。 空間ベクトルを利用して、線分の分点の座標などを考察する。 球面と平面が交わってできる図形を、連立方程式の解の集合として捉える。 	<p>・指導事項</p> <p>空間座標と諸事項</p> <p>空間の2点間の公式とその応用</p> <p>空間のベクトルの定義と演算</p> <p>空間のベクトルの分解</p> <p>空間のベクトルの成分とその性質</p> <p>空間のベクトルの内積とその性質</p> <p>空間の位置ベクトル</p> <p>空間の3点の共線条件</p> <p>空間の同じ平面上にある点</p> <p>空間図形への内積の利用</p> <p>空間座標における直線とベクトルの利用</p> <p>空間座標における図形</p> <p>球面の方程式、球面と平面が交わってできる図形の方程式</p> <p>・教材</p> <p>教科書 補助教材 プリント</p> <p>一人1台端末の活用</p> <p>解説動画の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間における図形を、座標を利用して示すことができる。 座標空間において、点の座標、2点間の距離などが求められる。 空間図形において、ベクトルの和や差を考えることができる。 空間のベクトルを、3つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。 成分表示されたベクトルを、3つのベクトルの1次結合の形に表現できる。 点の座標とベクトルの成分の関係について理解している。 立体図形におけるベクトルの内積を、適切な方法で計算できる。 ベクトルのなす角を、内積を利用して求めることができる。 ベクトルの垂直条件を理解し、計算に利用できる。 位置ベクトルの諸性質が平面の場合と同じであることを理解して、それらを利用できる。 空間において3点が一直線上にあるための条件を理解している。 ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用できる。 ある点が3点で定まる平面上にあるための必要十分条件を理解し、それらを利用することができる。 座標空間における線分の内分点・外分点などの座標が求められる。 座標軸に垂直な平面の方程式、球面の方程式について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトルを、平面上のベクトルの拡張として捉えることができ、平面上のベクトルで成り立つ性質が、空間においても同様に成り立つことを理解している。 空間のベクトルの成分表示を、平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。 空間のベクトルの内積を、平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。 座標空間の3点で定まる三角形の角の大きさを、ベクトルを利用して求めることができる。 ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用できる。 3点で定まる平面上に点Pがあることを、ベクトルで表現して利用できる。 線分の長さ、垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 内積を利用して、直線に垂線を下ろしたときの交点の座標を求めることができる。 空間ベクトルを利用して、線分の分点の座標などを考察できる。 球面と平面が交わってできる図形を、連立方程式の解の集合として捉えることができる。 	○	○	○	16

<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既知である平面の座標の概念を空間の座標に拡張しようとする。 ・空間のベクトルと平面上のベクトルを比較して考察しようとする。 ・空間のベクトルの成分表示と平面上のベクトルの成分表示を比較して考察しようとする。 ・空間のベクトルの内積と平面上のベクトルの内積を比較して考察しようとする。 ・成分表示されたベクトルの内積の公式を、平面の場合の拡張として導こうとする。 ・四面体の重心に興味をもち、その性質を位置ベクトルで考察しようとする。 ・3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとする。 ・球面の方程式に興味をもち、考察しようとする。 ・座標空間における平面の方程式、直線の方程式に興味をもち、考察しようとする。 		<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既知である平面の座標の概念を空間の座標に拡張する。 ・空間のベクトルと平面上のベクトルを比較して考察する。 ・空間のベクトルの成分表示と平面上のベクトルの成分表示を比較して考察する。 ・空間のベクトルの内積と平面上のベクトルの内積を比較して考察する。 ・成分表示されたベクトルの内積の公式を、平面の場合の拡張する。 ・四面体の重心に興味をもち、その性質を位置ベクトルで考察する。 ・3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用する。 ・球面の方程式に興味をもち、考察する。 ・座標空間における平面の方程式、直線の方程式に興味をもち、考察する。 							
<p>期末考査</p>		<p>期末考査</p>	○	○		<table border="1"> <tr> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> </tr> <tr> <td>35</td> </tr> </table>	1	計	35
1									
計									
35									

武蔵野北 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

理科 科目 物理基礎

教科：理科

科目：

物理基礎

単位数：

2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～

6 組

使用教科書：（ 数研出版「改訂版物理基礎」

）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 速度と加速度</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動についてx-t図とv-t図の特徴と、そのグラフがもたらす情報を理解させる。動いている物体から見た他の物体の速度が相対速度であることを示し、相対速度の式を理解させる。また、学習状況に応じて、「発展」で「平面上の速度の合成・速度の分解・速度の成分」、「平面上の相対速度」についても扱う。 直線運動における加速度の定義を理解させる。等加速度直線運動における3つの式を理解させ、その具体的な運用に慣れさせる。また、学習状況に応じて、「発展」で「平面運動の加速度」についても扱う。 自由落下や鉛直投射などの式が書けるようにし、その運用に慣れさせる。学習状況に応じて、「発展」で「水平投射の式」、「斜方投射」まで扱う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動、等加速度直線運動する物体のようすについて説明できるようにする。 等加速度直線運動する物体のようすについて説明できるようにする。 加速度の意味・表し方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解する。 落下する物体の運動に興味をもち、自由落下する物体の運動、鉛直投射された物体の運動の表し方を理解する。 	<p>・指導事項</p> <p>「速度」 「等速直線運動」 「相対速度」 「加速度」 「等加速度直線運動」 「落体の運動」</p> <p>・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器</p> <p>・記録タイマーを正しく用いて、重力加速度の大きさを測定し、9.8m/s^2前後の値になることを確認する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動の式およびx-t図、v-t図を理解できている。 合成速度、相対速度の意味と求め方を理解している。 等加速度直線運動を表す3つの式がどのようなようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができる。 自由落下や鉛直投射において、与えられた時刻における高さや速度を与える式の運用ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動、等加速度直線運動について、運動のようすを説明できる。 速度の意味・表し方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考えることができる。 重力加速度の大きさを測定し、文献などで調べた値と比較し、文献値と測定値の間に生じた誤差の原因について考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。 物体のスタート直後の速さの比較によって、加速度を学ぶ意味を理解しようとしている。 重力加速度の大きさを測定する実験に主体的に取り組んでいる。 	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
<p>B 運動の法則</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力は、物体の変形や運動状態の変化の原因となるものであり、向きと大きさをもったベクトル量であることを理解させる。 慣性の法則では、物体にはたらく力の合力が0であるとき、物体は等速直線運動（または静止）を続けることを理解させる。運動方程式では、物体は力を受けると加速すること、また、生じる加速度の大きさは質量に反比例し、力の大きさに比例することを、実験をもとにして理解させる。 液体や気体の中では物体は圧力を受けることや、圧力の式とその単位について理解させる。また、液体や気体中にある物体には浮力がはたらくこと、および、浮力の大きさについてアルキメデスの原理が成り立つことを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> フックの法則とばね定数の意味を理解させ、グラフからばね定数を読み取らせる。 慣性の法則、運動方程式を理解させ、問題解決にあたって式の運用を正しくできるようにする。 水中にある物体に、どのような水圧が加わるかを正しく理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心を持たせる。 日常の現象から水中や空気中で圧力があることに関心を寄せ、それらの圧力はどのようにしてはかることができるか考えさせる。 	<p>・指導事項</p> <p>「力とそのはたらき」 「力のつりあい」 「運動の法則」 「摩擦を受ける運動」 「液体や気体から受ける力」</p> <p>・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器</p> <p>・摩擦角を理解し、静止摩擦係数を求める実験から係数値を計算で求める。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解できている。 圧力を求める式を理解できている。 注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 さまざまな運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができる。 水中にある物体にはどのような浮力がはたらくかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> フックの法則とばね定数の意味を理解し、グラフからばね定数を読み取ることができる。 慣性の法則、運動方程式が理解でき、問題解決にあたって式の運用が正しくできる。 水中にある物体には、どのような水圧が加わるか、またどのような浮力がはたらくかを正しく理解し、説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心を持ち、理解しようとしている。 日常の現象などを通して、水中や空気中で圧力があることに関心を寄せ、それらの圧力はどのようにしてはかることができるか考えようとしている。 静止摩擦係数を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 	○	○	○	7

1 学期

<p>C 仕事とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の定義を正確に把握させる。特に、物体の移動方向に垂直にはたらく力は仕事をしないこと、移動の向きと力の向きが逆のときは仕事は負になることについて具体的に理解させる。 ・運動エネルギーの式$1/2 \times mv^2$を導けるようにする。また、物体の運動エネルギーの変化が物体にされた仕事に等しいことを理解させる。 ・高い所にある物体は他の物体に対して仕事をするところから、重力による位置エネルギーをもっていることを理解させる。 ・力学的エネルギー保存則は、物体にはたらく力が保存力だけのとき、あるいは保存力以外の力がはたらいていてもその力が物体に対して仕事をしないときに成り立つことを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の原理を理解し、道具を用いたときに必要な仕事はどうなるかを説明できるようにする。 ・運動エネルギーの変化は仕事に等しいことから物体の運動を説明できるようにする。 ・位置エネルギーについて説明することができるようになる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常用いる「仕事」と物理でいうところの「仕事」について違いを理解しようとしている。 ・位置エネルギーについて、仕事をする能力を秘めていることに興味を持たせる。 ・力学的エネルギー保存則の実験に主体的に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 「仕事」 「運動エネルギー」 「位置エネルギー」 「力学的エネルギーの保存」 ・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器 ・糸振りを活用して、力学的エネルギー保存について確認する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、仕事率を求めることができる。 ・物体に対して力がはたらいていても、仕事が0のときもあることを理解している。 ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを理解している。 ・物体が基準点まで移動するとき保存力がする仕事、位置エネルギーであることを理解している。 ・力学的エネルギー保存則が成り立つための条件が整っているかどうかを判断できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仕事の原理」を理解し、道具を用いたときに必要な仕事はどうなるかを説明できる。 ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを用いて物体の運動を説明できる。 ・重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーについて説明することができる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解し、物理でいうところの「仕事」について理解しようとしている。 ・位置エネルギーについて、仕事をする能力を「秘めて」いることに興味をもち、理解しようとしている。 ・力学的エネルギー保存則の実験に主体的に取り組んでいる。 	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>D 熱</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度は、原子や分子の熱運動の激しさを示すものであり、熱運動が停止するときの温度を0とする絶対温度について理解させる。 ・熱の移動がエネルギーの移動であることを説明し、熱がエネルギーの一形態であることを理解させる。熱容量や比熱の定義を理解させようとして、温度をΔT [K] 変化させるのに必要な熱量を、熱容量や比熱を用いて表すことができるようにする。また、外部との熱のやりとりがない場合、熱量が保存されることを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明する。 ・日常的な現象を熱と仕事の関係を踏まえて説明する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解しようとする。 ・熱と仕事の関係について興味関心をもち、理解しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 「熱と温度」 「熱と仕事」 ・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器 ・仕事による水温の上昇実験についてグラフから、仕事と熱の関係を推測する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などを正しく理解している。 ・熱量の保存について理解し、熱量保存の式を立てることができる。 ・物質が、固体→液体、液体→気体になる際の、熱のやりとりについて理解している。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。 ・熱機関と熱機関の効率について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できる。 ・日常的な現象を熱と仕事の関係を踏まえて説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・熱と仕事の関係について興味関心をもち、理解しようとしている。 	○	○	○	7
<p>E 波の性質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波動とは、媒質の1点に起こった振動が、媒質中を少しずつ遅れて伝わっていく現象であることを理解する。 ・媒質がどのような振動状態であるかを表す量である位相について扱い、同位相、逆位相についても理解させる。 ・媒質の振動の方向に対して垂直な方向へ伝わる波形が横波、媒質の振動と同じ方向へ伝わる波形が縦波である。つる巻きばねを用いて観察させ、理解させる。 ・波の重ねあわせの原理では、2つの波がある点に同時に達したときの変位は、2つの波が単独に達したときの変位の和であることを理解させる。 ・定在波の媒質は、場所によって振幅が異なることを理解させる。 ・「発展」で「波の波面、波の干渉、波の反射と屈折、波の回折」を扱う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の伝わるようすを、グラフで表現する。 ・定在波を発生させる条件を正しく理解させ、説明できるようにする。 ・固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとする。 ・波が衝突や反射するときどうなるか、興味を持って、自分の考えを述べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 「波と媒質の振動」 「波の伝わり方」 ・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器 ・波動のグラフを描き、波の伝わる速さについて、基本法則を導き出す。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の発生原理や基本事項を理解している。 ・縦波と横波の違いを理解している。 ・定在波の生じるしくみを理解している。 ・ウェーブマシンの実験・観察を通して、波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。 ・定在波を発生させる条件を正しく理解し、説明できる。 ・固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。 ・波が衝突や反射するときどうなるか、興味を持って、自分の考えを述べることができる。 	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1

F	<p>音</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間を伝わる音波は空気を媒質とする縦波であることを理解させる。 うなりの現象を実験によって観察させ、その理由を理解させる。 弦の振動は、弦の両端を節とする定在波であることを、観察をもとにして理解させる。 気柱の固有振動は閉端を腹、閉端を節とする定在波であることを把握させる。 振動体にその固有振動の周期と等しい周期で変化する外力を加えると、振動体は大きく振動するようになる（共振・共鳴）ことを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> オシロスコープによる音波の波形図を用いて、音の3つの要素について、自分の言葉で説明する。 日常的な現象を熱と仕事の関係を踏まえて説明する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弦や気柱の振動の実験や、振り子の共振の実験において、主体的に取り組む。 モノコードにより弦の振動と音階の関係について、自分の考えを述べる。 	<p>・指導事項 「音の性質」 「発音体の振動と共振・共鳴」</p> <p>・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器</p> <p>・オシロスコープによる音波の波形図から振動のグラフを理解する。</p> <p>・気柱共鳴装置を用い、気柱の共鳴音からおんさの振動数や音速を求めることができるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解している。 うなりについて、音の干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。 弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音を伝える際、空気などの媒質が必要であることを説明できる。 音の3つの要素について説明できる。 うなりとはどのような現象であることを説明できる。 弦楽器の音にはどのようなことが関係しているかを、これまでの学習内容を踏まえて考えることができる。 倍音とはどのような振動数の音であることを説明できる。 気温と管楽器からの音の振動数にはどのような関係があるかを考察し、説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な音の現象に興味をもち、基本事項について理解しようとしている。 弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べることができる。 音に関する問いかけについて、自分の言葉で表そうとしている。 	○	○	○	13
定期	<p>定期考査</p>			○	○		1
G	<p>音のドップラー効果</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波源と観測者がとが相対的に運動しているときには、観測者が受ける振動数は波源本来の振動数とは異なることを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音源が動く場合には、観測者の運動に関係なく波長が変化することを理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音のドップラー効果に興味をもち、なぜそのような現象が起こるか理解しようとし、演習に主体的に取り組む。 	<p>・指導事項 「音のドップラー効果」</p> <p>・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ドップラー効果の式を用いて、観測者が聞く音の振動数を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動している音源から出た音の波長が、音源の前方と後方でどのように変化するかを説明することができる。 観測者が動く場合（音源は静止）のドップラー効果がなぜ起きるか説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な現象である音のドップラー効果に興味をもち、なぜそのような現象が起こるか理解しようとしている。 	○	○	○	6
H	<p>電気</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の帯電するしくみを理解させる。 電圧、電流、電気抵抗の間には、オームの法則が成り立つことを理解させる。 導体、不導体、半導体の違いについて理解する。 オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解する。 導体の両端に電圧を加えると、導体内にある自由電子は導体内に生じる電場により加速されて電流が生じ、加速された自由電子は導体中の陽イオンに衝突して運動エネルギーを陽イオンに与え、陽イオンの熱運動が激しくなって導体の温度が上がることを理する。 直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断する。 交流電圧の基本について理解する。 変圧器と送電の基本について理解する。 電磁波の振動数と波長の関係を理解する。また、ラジオ放送やテレビ放送、携帯電話など、身近に使われている電磁波の周波数についても把握する。 <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ガラス棒を絹などでこすった際に、それぞれどのような帯電状態になるかを説明できる。 オームの法則を理解し、I-Vグラフより、金属の抵抗値を求めることができる。 電気回路の接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できる。 ジュール熱について、電流と電圧とどのような関係にあるか説明できる。 電流と磁場の関係について説明できる。 交流電圧の基本について理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な静電気現象について、なぜそうなるかを述べることができる。 電気回路の抵抗の接続のしかたを変えたとき、抵抗に加わる電圧と流れる電流の値がどのようなかについて、主体的に考えることができる。 直流と交流の違いや送電時の工夫について、主体的に考えることができる。 	<p>・指導事項 「電気の性質」 「電流と電気抵抗」 「電気とエネルギー」 「電流と磁場」 「交流と電磁波」</p> <p>・教材 教科書 プリント 問題集 ICT機器</p> <p>・オームの法則を実験により定量的に検証する。また、実験から、物体の長さや断面積と抵抗値の関係について理解する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の帯電するしくみを理解している。 導体・不導体、半導体の違いについて理解している。 オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解している。 電力量と電力の意味（およびその公式）について理解している。 直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断することができる。 交流電圧の基本について理解している。 変圧器と送電の基本について理解している。 電磁波の振動数と波長の関係を理解している。また、ラジオ放送やテレビ放送、携帯電話など、身近に使われている電磁波の周波数についても把握している。 <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ガラス棒を絹などでこすった際に、それぞれどのような帯電状態になるかを説明できる。 オームの法則を理解し、I-Vグラフより、金属の抵抗値を求めることができる。 電気回路の接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できる。 ジュール熱について、電流と電圧とどのような関係にあるか説明できる。 電流と磁場の関係について説明できる。 交流電圧の基本について理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な静電気現象について、なぜそうなるかを述べることができる。 電気回路の抵抗の接続のしかたを変えたとき、抵抗に加わる電圧と流れる電流の値がどのようなかについて、主体的に考えることができる。 直流と交流の違いや送電時の工夫について、主体的に考えることができる。 	○	○	○	6
定期	<p>定期考査</p>			○	○		1
							合計
							70

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育 女子

教科：保健体育 科目：体育 女子 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 女子 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「体づくり運動」 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。 【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と主体的に関わり合う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。	・指導事項 ラジオ体操 ストレッチ トレーニング 簡易ダンス ペア運動	【知識・技能】 ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。	○	○	○	6
	E 単元「ソフトボール」 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ボール慣れ 基礎練習 基本練習	【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力・人間性等】 ・ソフトボールに主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	○	○	○	6
	B 単元「バレーボール」 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ボール慣れ オーバーハンドパス アンダーハンドパス スパイク 簡易ゲーム	【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたシャトル操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力・人間性等】 ・バドミントンに主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	○	○	○	6

	<p>D 単元「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 【思考力・判断力・表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 水慣れ クロール 平泳ぎ 背泳ぎ スタートの仕方 ターンの仕方 ・教材 ・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作を安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力・人間性等】 ・水泳に積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る。</p>	○	○	○	11
	<p>B 単元「バレーボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ オーバーハンドパス アンダーハンドパス スパイク 簡易ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたシャトル操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力・人間性等】 ・バドミントンに主体的に取り組もうとしている ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>C 単元「サッカー」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ 基礎練習 基本練習 シュート練習 フォーメーション練習 ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力・人間性等】 ・サッカーに主体的に取り組もうとしている ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている</p>	○	○	○	7
2 学 期	<p>E 単元「ソフトボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ 基礎練習 基本練習</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力・人間性等】 ・ソフトボールに主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	6

<p>B 単元「バドミントン」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方などを理解するとともに、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 シャトル慣れ サーブ クリア ヘアピン スマッシュ ドロップ 簡易ゲーム ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走 シャトルラン ポイント走 時間走 距離走</p>	<p>【知識・技能】 ・記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・走り方や呼吸法などを意識しペースの変化に対応して走るなどの技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	9
<p>3 学期</p> <p>A 単元「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。</p>	<p>・指導事項 体力を高める運動 体ほぐしの運動 柔軟運動 ペア運動</p>	<p>【知識・技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わう。 ・心と体が互いに影響し変化することや心身の状態に気付き。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かにし継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・互いに助け合い高めあおうとする。 ・一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとする。 合意形成に貢献しようとする。</p>	○	○	○	3
<p>C 単元「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気付くこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (ア) スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ) 現代のスポーツの意義や価値 (ウ) スポーツの経済的効果と高潔さ (エ) スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・教材 保健教科書</p>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学習に主体的に取り組む。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習を主体的に取り組む。</p>	○	○	○	3
						合計
						70

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育 男子

教科：保健体育 科目：体育 男子 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 6組

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 男子 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。</p>	<p>・指導事項 ラジオ体操 ストレッチ トレーニング 簡易ダンス ペア運動</p> <p>・教材 一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	6
<p>C 単元「サッカー」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ 基礎練習 基本練習 シュート練習 フォーメーション練習 ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をする</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・サッカーに主体的に取り組もうとしている ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている</p>	○	○	○	6
<p>E 単元「バレーボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>ネット型では、役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作によって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ 基礎練習 基本練習 レセプション練習 ディグ練習</p> <p>・教材 一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・バレーボールに主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	6

<p>D 単元「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守することなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 水慣れ クロール 平泳ぎ 背泳ぎ スタートの仕方 ターンの仕方</p> <p>・教材 ・一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ。 クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作を安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・水泳に積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る。</p>	○	○	○	11
<p>E 単元「バレーボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ネット型では、役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作によって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ 基礎練習 基本練習 レセプション練習 ディグ練習</p> <p>・教材 ・一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・バレーボールに主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	7
<p>E 単元「ソフトボール」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ 投球練習 打撃練習 守備練習 連携プレイ</p> <p>・教材 ・一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・ソフトボールに主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	7
<p>2 学 期</p> <p>C 単元「サッカー」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ボール慣れ 基礎練習 基本練習 シュート練習 フォーメーション練習 ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間の侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・サッカーに主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	6

<p>B 単元「バドミントン」</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方などを理解するとともに、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と仲間と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 シャトル慣れ サーブ クリア ヘアピン スマッシュ ドロップ 簡易ゲーム ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>C 単元「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>長距離走 シャトルラン ポイント走 時間走 距離走</p> <p>・教材 ・一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・走り方や呼吸法などを意識しペースの変化に対応して走るなどの技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的。計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	9
<p>3 学期</p> <p>A 単元「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。自己の体力や生活に応じた継続的な運動について、実生活に活かす計画を立てる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することが出来る。</p>	<p>体力を高める運動 体ほぐしの運動 柔軟運動 ペア運動</p> <p>・教材 ・一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わう ・心と体が互いに影響し変化することや心身の状態に気付く。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かにし継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・互いに助け合い高めあおうとする ・一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとする。 合意形成に貢献しようとする。</p>	○	○	○	3
<p>C 単元「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気付くこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>(ア) スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ) 現代のスポーツの意義や価値 (ウ) スポーツの経済的効果と高潔さ (エ) スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・教材 ・一人1 台端末の活用 ・保健教科書</p>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学習に主体的に取り組む。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習を主体的に取り組む。</p>	○	○	○	3
						合計 70

	<p>第4章 健康を支える環境づくり</p> <p>【知識及び技能】 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解できるようにする。</p> <p>我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解できるようにする。</p> <p>自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした、健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てる。</p>	<p>・指導事項 ⑦保健制度とその活用 ⑧医療制度とその活用 ⑨医薬品の制度とその活用 ⑩様々な保健活動や対策 ⑪誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり</p> <p>・教材 新高等保健体育（大修館書店） 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・保健行政の役割と提供されている保健サービスについて理解している。 ・領収証の比較を通して、医療保険の仕組みについて理解できたことを言ったり書いたりしている。 ・医療機関の種類と役割、種類と販売規制について理解できたことを言ったり書いたりしている。 ・医薬品を服用する前に、医薬品に関する情報を多く収集して、その特性を踏まえた上で正しく使うことについて理解できたことを言ったり書いたりしている。 ・日本や政界では、様々な健康問題があり、ヘルスプロモーションの理念に基づき、それらに対応した保健活動や対策が行われていることを理解できている。 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりには、多様な人や組織が参加して進めることが大切であることを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・今後の生活の中で起こり得る健康課題の解決策と充実した生活を送るために、保健センターや保健所のサービスを適切に選択している。 ・医療サービスを適切に活用するために、自分ができることや医療関係者に求めることを整理している。 ・医薬品の制度と個人の取り組みを関連付けながら、生活の質の向上のための医薬品の正しい使い方を整理している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
3 学 期	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>課題研究</p> <p>【知識及び技能】 健康や体力、スポーツに関わる様々な事柄について調べて、自らの健康やスポーツに関連して理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持・増進や豊かなスポーツライフの実現について説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 健康や体力、スポーツに関心をもち、今後、生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。</p>	<p>・指導事項 健康や体力、スポーツに関わるテーマ学習</p> <p>・教材 新高等保健体育（大修館書店） 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・選んだテーマについて、調査研究し理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・健康やスポーツテーマについて、自らの健康やスポーツに関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・選んだテーマについて、調査研究を進め、課題の解決に向けた学習に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 35

武蔵野北 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： (Crown English Communication Ⅱ (三省堂))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	<ul style="list-style-type: none"> 1学年における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりする。 獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> 「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 1学年における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせる。 新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりさせる。 獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができるようにさせる。 【聞くこと】 <ul style="list-style-type: none"> 日常的・社会的な話題に関して、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにさせる。 【読むこと】 <ul style="list-style-type: none"> 日常的・社会的な話題に関して、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにさせる。 【話すこと(やりとり)】 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題に関して、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにさせる。原則としてここでやり取りは即興で行う。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。 【話すこと(発表)】 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにさせる。 【書くこと】 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養わせる。 「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話発	話書	書					
lessons 1-3 【知識及び技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の理解と場面に応じた運用 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材について、理解して考えを深めることができる。 ・本課の題材について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 [L] 本課の題材についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R] 本課の題材に関する談話を読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、与えられた表現を参考に自分の考えを話して伝え合えることができる。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 本課の題材に関する英語話者の体験について説明するモノローグの概要や要点を聞き取り、聞き取った内容を伝え合う。 本課の題材に関するグラフを見て、読み取ったことや考えたことについて話し合う。 本課の題材に関する談話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 本課の題材について意見や情報を交換する。 本課の題材に関する談話について、概要や要点を表に書いて整理したりしながら、書いてまとめる。 本課の題材についての対話から、概要や詳細を聞き取る。 本課の題材について、情報や意見を交換する。 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、情報や考えを書く。 本課のターゲットである文法事項を使って、自分の考えや行動について書く。 本課の題材について、概要を聞き取ったり読み取ったりする。 本課の題材について、自分自身の考えなどを伝え合う。 	○	○	○	○	○	【知識】 本課のターゲットである文法事項に関する事項を理解している。本課の題材の中で使われている表現の意味や働きを理解している。 【技能】 [L] 本課の題材について、対話の中での相づちをうつ表現や話の展開に注意しながら、対話を聞き取る技能に付けている。 [R] 本課の題材について、本課のターゲットである文法事項や本文中で使われている表現に留意して、読み取る技能を身に付けている。 [Sや] 本課の題材などについて、考える時間をかせぐ表現や例をあげる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、情報や考えを書いて伝える技能を身に付けている。 [L] 本課の題材について、対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取って捉えている。 [R] 本課の題材について、理解を深めるために、本課の題材に関する談話を読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えている。 [L] 本課の題材についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 本課の題材について理解を深めるために、本課の題材に関する談話を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 本課の題材について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。 [W] 本課の題材について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを書いて伝えようとしている。	○	○	○	48

武蔵野北高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ CROWN English Logic and ExpressionⅡ(三省堂) ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりする。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせる。特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、1つの段落を書くことを通じて、論理の構成や展開を工夫して伝える又は伝え合うことができるようにさせる。 ・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりさせる。 ・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるようにさせる。 	<p>【話すこと(やりとり)】 日常的な話題に関して、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができるようにさせる。</p> <p>【話すこと(発表)】 日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることができるようにさせる。</p> <p>【書くこと】 日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝える文章を書くことができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝える文章を書くことができるようにさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養わせる。 ・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。

<p>Lesson 3</p> <p>【知識・技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、本課の題材について述べればよいかについて、考えを深めることができる。</p> <p>・本課の題材について、論理的に考えを構成し、スピーチを行い、分からなかったことなどについて意見交換ができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。 ・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。 ・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。 ・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。 ・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。 ・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。 ・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。 ・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えると共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。 ・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。 ・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[知識] [Sや] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>Lesson 4</p> <p>【知識・技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 [W] 本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、自分の意見を英文で書くことができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。 ・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。 ・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。 ・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。 ・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。 ・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。 ・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。 ・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えると共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。 ・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。 ・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[技能] [Sや] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[W] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>定期考査</p>		<p>○</p>			<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>1</p>

<p>2 学 期</p>	<p>Lesson 5</p> <p>【知識・技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、本課の題材について述べればよいかについて、考えを深めることができる。</p> <p>[W] 本課の題材について、論理的に考えを構成し、英文を書くことができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<p>・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。</p> <p>・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。</p> <p>・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。</p> <p>・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。</p> <p>・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。</p> <p>・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えると共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。</p> <p>・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。</p> <p>・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[技能] [W] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、英文を書く技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしていたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 6</p>
<p>Lesson 6</p> <p>【知識・技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、本課の題材について述べればよいかについて、考えを深めることができる。</p> <p>・本課の題材について、論理的に考えを構成し、スピーチを行い、分からなかったことなどについて意見交換ができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<p>・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。</p> <p>・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。</p> <p>・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。</p> <p>・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。</p> <p>・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。</p> <p>・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えると共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。</p> <p>・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。</p> <p>・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[技能] [Sや] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしていたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 7</p>	
<p>定期考査</p>		<p>○</p>		<p>○ ○ 1</p>	

<p>Lesson 7</p> <p>【知識・技能】 ・文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、本課の題材について述べればよいかについて、考えを深めることができる。</p> <p>・本課の題材について、論理的に考えを構成し、スピーチを行い、分からなかったことなどについて意見交換ができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<p>・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。</p> <p>・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。</p> <p>・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。</p> <p>・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。</p> <p>・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。</p> <p>・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えると共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。</p> <p>・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。</p> <p>・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[技能] [Sや] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 6</p>
<p>Lesson 8</p> <p>【知識・技能】 ・ターゲットである文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、本課の題材について述べればよいかについて、考えを深めることができる。</p> <p>・本課の題材について、論理的に考えを構成し、スピーチを行い、分からなかったことなどについて意見交換ができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<p>・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。</p> <p>・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。</p> <p>・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。</p> <p>・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。</p> <p>・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。</p> <p>・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えると共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。</p> <p>・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。</p> <p>・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[技能] [Sや] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 7</p>
<p>定期考査</p>		<p>○</p>		<p>○ ○ 1</p>

	<p>Lesson 9</p> <p>【知識・技能】 ・ターゲット文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、本課の題材について述べればよいかについて、考えを深めることができる。</p> <p>・本課の題材について、論理的に考えを構成し、スピーチを行い、分らなかったことなどについて意見交換ができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<p>・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。</p> <p>・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。</p> <p>・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。</p> <p>・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。</p> <p>・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。</p> <p>・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えたと共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。</p> <p>・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。</p> <p>・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。</p>	○	○	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[技能] [Sや] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答しようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	○	○	6
3 学 期	<p>Lesson 10</p> <p>【知識・技能】 ・ターゲット文法事項 ・言語機能の場面に応じた運用</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本課の題材についてのやりとりや、本課の題材について語ったスピーチなどを通して、本課の題材について述べればよいかについて、考えを深めることができる。</p> <p>・本課の題材について、論理的に考えを構成し、スピーチを行い、分らなかったことなどについて意見交換ができる。</p> <p>[Sや] 本課の題材について基本的な語彙や文法を活用して、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを、やり取りの表現を用いて伝え合うことができる。</p> <p>[S発] 本課の題材について、基本的な語彙や文法を活用して、与えられたサンプルを参考にスピーチ原稿を作成し、発表することができる。</p>	<p>・本課の題材についての意見や考えを交換し、本課活動のためのウォームアップとする。</p> <p>・やり取りを聞いて、本課の題材について概要を理解する。</p> <p>・本課の題材の理解を通して、本課のターゲットである文法事項について理解を深める。また、本課の題材について英語で論理的に表現する。</p> <p>・本課の題材の関連資料から情報を読み取り、本課の題材の背景について理解を深める。また、本課の題材について意見交換する。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項および論理構成に留意しながら、本課の題材に関する要約と意見文を書く。</p> <p>・書いた要約と意見文を基に、例にならってペアまたはグループでやり取りを行う。</p> <p>・本課のターゲットとする文法事項についての理解を深め、本課の題材の関連資料について書いたり、やり取りする。</p> <p>・本課の題材の関連資料についてのスピーチの概要を捉えたと共に、スピーチの構成や展開について理解を深める。</p> <p>・本課の題材について、これまで学習した言語材料及び題材を活用して英語で表現し、スピーチを行う。またスピーチを聞いてメモを取ったり質問したりする。</p> <p>・本課で学んだ論理展開の方法を活用して、関連題材を1つ選んで、Mini Speechを行う。</p>	○	○	<p>[知識] 本課のターゲットである文法事項について理解している。言語機能を理解している。</p> <p>[技能] [Sや] 本課の題材について、言語機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、論理展開に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用してスピーチ原稿を作成し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、複数のアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチしている。</p> <p>[Sや] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答しようとしている。</p> <p>[S発] 本課の題材について、主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチしようとしている。</p>	○	○	7
定期 考 査			○			○	○	1
合計								70

武蔵野北 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 7実教 家基007-901 新家庭基礎 気づく力 築く未来 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、社会との関わりについて、衣食住、消費や環境などについて、理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期の課題を理解し、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めること 【思考力、判断力、表現力等】 自己の意思決定に基づき責任をもって行動することや家族の一員としての役割を果たすことの重要性について問題を見だし、課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に取り組み、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・指導事項 ライフステージと発達課題 生活設計 自立と共生 ライフキャリア 家族に関する法律 ・教材 教科書、資料集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題を理解し、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 自己の意思決定に基づき責任をもって行動することや家族の一員としての役割を果たすことの重要性について問題を見だし、課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の自立と家族・家庭について課題の解決に取り組んだり、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	生活における経済の計画 【知識及び技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見だし課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 生活における経済の計画について課題の解決に取り組んだり生活の充実向上を図るために実践すること。	・指導事項 家計と経済のかかわり 生活に必要な費用と管理 現在の家計の傾向 ・教材 教科書、資料集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 【思考・判断・表現】 生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見だし課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活における経済の計画について課題の解決に取り組んだり生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	消費行動と意思決定 【知識及び技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理できること。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として生活情報を活用し責任ある消費について問題を見だし課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 消費行動と意思決定について課題の解決に取り組んだり、生活の充実向上を	・指導事項 消費生活の現状と課題 契約について 販売方法 支払い方法と消費者信用 消費者の権利と責任 ・教材 教科書、資料集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 自立した消費者として生活情報を活用し責任ある消費について問題を見だし課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費行動と意思決定について課題の解決に取り組んだり、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	衣生活と健康 【知識及び技能】 被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。被服材料、被服構成、被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について問題を見だし課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活と健康について、課題の解決に取り組んだり生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 人と衣服のかかわり 衣服の素材の種類と特徴 衣服の管理 衣服の構成と実習 ・教材 教科書、資料集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。被服材料、被服構成、被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性について問題を見だし課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活と健康について、課題の解決に取り組んだり生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

武蔵野北 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 理科 科目 発展化学基礎

教科：理科 科目：発展化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 数研出版 化学 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 発展化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：電気分解 【知識及び技能】電気分解の仕組みを、酸化還元と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ファラデーの法則に基づく電気分解の量的関係について、判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 水溶液の電気分解 ファラデーの法則 電気分解の工業的な利用 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】電気分解の仕組みを、酸化還元と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ファラデーの法則に基づく電気分解の量的関係について、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	6
	単元：金属元素(I)－典型元素 【知識及び技能】周期表に基づいて典型金属元素の性質が整理できることを理解しその単体や化合物の性質の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】金属元素の単体や化合物の性質の関係について周期表に基づいて判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 アルカリ金属 アルカリ土類金属 両性金属 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】周期表に基づいて典型金属元素の性質が整理できることを理解しその単体や化合物の性質の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】金属元素の単体や化合物の性質の関係について周期表に基づいて判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元：金属元素(II)－遷移元素 【知識及び技能】錯イオンを作る等の遷移元素の性質が典型元素と違い同一周期で似ていることを理解し身近な金属を中心に特徴的な性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】金属イオンの反応性に基づき混合溶液からの金属イオンを分離する方法が判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 遷移元素 錯イオン 亜鉛 鉄 銅 銀 クロム マンガン ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】錯イオンを作る等の遷移元素の性質が典型元素と違い同一周期で似ていることを理解し身近な金属を中心に特徴的な性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】金属イオンの反応性に基づき混合溶液からの金属イオンを分離する方法が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	単元：非金属元素 【知識及び技能】周期表に基づいて非金属元素の性質が整理できることを理解しその単体や化合物の性質の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】非金属元素の単体や化合物の性質の関係について周期表に基づいて判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 水素 貴ガス ハロゲン 酸素・硫黄 窒素・リン 炭素・ケイ素 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】周期表に基づいて非金属元素の性質が整理できることを理解しその単体や化合物の性質の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】非金属元素の単体や化合物の性質の関係について周期表に基づいて判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	8
	単元：固体の構造 【知識及び技能】結晶の種類と関連付けて結晶格子の概念と単位格子と配位数の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】結晶格子の構造から原子半径や充填率、密度の関係を導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 結晶とアモルファス 金属結晶 イオン結晶 分子間力 単位格子 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】結晶の種類と関連付けて結晶格子の概念と単位格子と配位数の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】結晶格子の構造から原子半径や充填率、密度の関係を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元：物質の状態変化 【知識及び技能】エネルギーの出入りと三態変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】蒸気圧・大気圧・沸点の関係を説明し、状態図から状態の変化を導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	・指導事項 熱運動と分子間力 結晶と融点・沸点 気液平衡と蒸気圧 状態図 ・教材 教科書・プリント・レポート・小テスト ・ICT・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】エネルギーの出入りと三態変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】蒸気圧・大気圧・沸点の関係を説明し、状態図から状態の変化を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学習する化学現象や理論について、調べようとし、日常生活や社会と関連していることに気づく。	○	○	○	3

武蔵野北 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 課題研究メソッド 啓林館 ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
進路探究 【知識及び技能】 自身の進路について必要な知識を得る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 進路学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 「課題研究メソッド」テーマ・問・仮説の設定 ・教材 プリント等 ・一人1台端末の活用 等 タブレットを用いて論文検索・論文作成など	【知識・技能】 自身の進路について必要な知識を得る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自身の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
進路探究 【知識及び技能】 自身の進路について必要な知識を得る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 進路学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 「課題研究メソッド」テーマ・問・仮説の設定 ・教材 プリント等 ・一人1台端末の活用 等 タブレットを用いて論文検索・論文作成など	【知識・技能】 自身の進路について必要な知識を得る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自身の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	13
進路探究 【知識及び技能】 自身の進路について必要な知識を得る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 進路学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 「課題研究メソッド」テーマ・問・仮説の設定 ・教材 プリント等 ・一人1台端末の活用 等 タブレットを用いて論文検索・論文作成など	【知識・技能】 自身の進路について必要な知識を得る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自身の将来について課題を立て、情報を集め、整理分析してまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
						合計
						35